

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

## 腎疾患の移行期医療支援ガイド -IgA 腎症・微小変化型ネフローゼ症候群-

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）難治性腎障害に関する調査研究班「腎疾患の移行期医療支援ガイド -IgA 腎症・微小変化型ネフローゼ症候群-」作成委員会（研究代表者：成田一衛 新潟大学大学院医歯学総合研究科腎・膠原病内科学）

東京医学社、2019年7月1日第1刷発行

### ■1 柴苓湯

疾患：

小児 IgA 腎症

有効性に関する記載ないしその要約：

『Q5 重症度分類に基づいた基本的な治療方針は？』の解説の軽症例の項に、下記の記載がある。

『漢方薬：柴苓湯 1 包分 2 (体重 20 kg 以下) 、2 包分 2 (20～40 kg) 、3 包分 3 (40 kg 以上) (本剤 1 包とは、ツムラ柴苓湯エキス顆粒の 3.0g、クランエ柴苓湯エキス顆粒の 2.7g に相当する。)

### ■2 柴苓湯

疾患：

小児 IgA 腎症

引用など：

吉川徳茂, ほか. 巣状・微小メサングウム増殖を示小児期 IgA 腎症における柴苓湯治療のプロスペクティブコントロールスタディ. *日本腎臓学会誌* 1997; 39: 503-6.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

コラム 4: 小児 IgA 腎症患者における漢方処方項に、下記の記載がある。

『軽症小児 IgA 腎症における治療として、「小児 IgA 腎症ガイドライン 1.0 版」には柴苓湯が記載されている。柴苓湯については根拠となった試験が存在するが、RA 系阻害薬のエビデンスが確立する以前のものであり、現在では第一選択とは言い難い。RA 系阻害薬が使用できない患者でその使用が検討される。』